

西はりま天文台「なゆた望遠鏡」の運用

兵庫県立大学 伊藤洋一

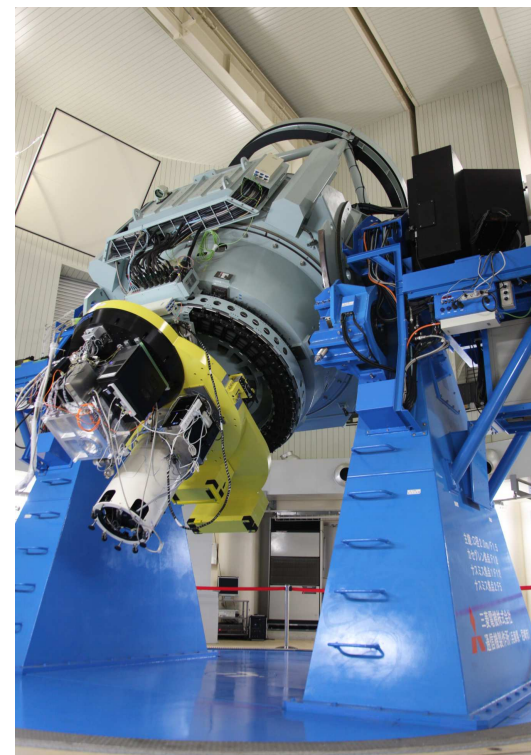
1. 組織

- 2012年度から兵庫県立大学の一組織に
- 任期無しスタッフ:3名
- 任期付研究員:5名
- 学生:3名(D2x1, B4x2)
- 物質理学研究科の協力講座



2. なゆた望遠鏡の現状

- なゆた望遠鏡の性能
 - 口径2m
 - カセグレン焦点、2つのナスマス焦点
 - 現時点で「日本最大の光学赤外線望遠鏡」
- 観測利用: 19:30までと21:00以降
- 昨年度の実績
 - 2時間以上の観測 = 64 %の夜で遂行
 - 大学間連携の観測は112夜



3. 観測装置

可視光多色撮像装置 MINT

- BVRI, griz広帯域撮像

可視光中低分散分光器 MALLS

- 波長分解能: 600、1200、7500

近赤外線撮像装置 NIC

- JHK 3色同時撮像

可視光高速撮像装置 VTOS

- スペックル観測

同時偏光撮像分光装置

- 偏光4成分を同時に取得

狭帯域撮像分光装置 LISS

- 東大センターの持ち込み装置



4. 公募観測

- 実施期間 : 2013年10月から
- プロポーザル : 年間2回公募
- 割当夜数 : 半年で20夜
- 装置 : MINT, MALLS, NIC等
- 審査 : 外部委員を含めた審査委員会

